

【球技】（ネット型：ソフトテニス）

1 運動の特性

(1) 一般的な特性

○機能的特性

〈ネット型共通〉

・コート上でネットをはさんで相対し、体や用具を操作してボールを空いている場所に返球し、一定の得点に早く到達することを競い合うことが楽しい運動である。

〈ソフトテニス〉

・ソフトテニスは、ラリーやゲームでの相手とのかけひきが楽しい運動である。更にダブルスではパートナーとのコンビネーションが重要となり、協力してポイントをとるところに喜びを感じる運動である。

○構造的特性

〈ネット型共通〉

・ネット型は、攻守分離型、打ち返し型に分類できる。攻守分離型は分離されたコートに向こうにいる相手に対し、ボールをコントロールさせないように攻撃すること、自陣の空間を守らせることから成る運動である。また、打ち返し型は1回の触球で相手コートに攻撃する攻守一体型と自チーム内で効果的に攻撃ができるよう、守備から攻撃へつなぐ連係プレイ型で構成される。

〈ソフトテニス〉

・ソフトテニスは、サービス、ストローク、ボレー、スマッシュなどの身体動作とラケット操作から成る運動である。

○効果的的特性

〈ネット型共通〉

・相手の打球に応じた動きが必要とされるため、敏捷性や巧緻性を高めることができる運動である。

〈ソフトテニス〉

・道具を用いてボールを上手にコントロールしようとするところから、コーディネーション能力、空間認知能力、状況判断能力などが身に付く運動である。

(2) 中学生からみた特性

- ・ネットを挟んで行う競技なので相手との接触がなく、身体動作を邪魔されないので、自由に攻撃することができる。
- ・テニス、ソフトテニスを知らない生徒はおらず、イメージが持ちやすい。
- ・自分のプレーが得点につながった時に、喜びや楽しさを感じることができる。
- ・動いているボールをラケットで操作することが難しく技能の習得に時間がかかる。
- ・責任の所在がはっきりしてしまうため、ミスを恐れ動きが小さくなってしまう。
- ・最初は興味や意欲があっても、個々の進歩の度合いに応じて技能の習得状況が異なるため、つまづいてやる気が減退してしまうことがある。

2 学習のねらい

○技能

[第1学年及び第2学年]

- ・ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開することができるようにする。

[第3学年]

- ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって、空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。

ネット型のボールや用具の操作とボールを持たないときの動きの例

	小学校5・6年	中学校1・2年	中学校3年
ボールや用具の操作	<ul style="list-style-type: none"> ・中央付近からのサービス ・味方へのやあなりのレシーブ ・ネット上へのセットアップ ・頭上でもヒット 	<ul style="list-style-type: none"> ・中心付近をとらえたサービス ・返球方向へのラケット面づくり ・空いた場所への返球 ・操作しやすい位置へのつなぎ ・テイクバックをとった高い位置からの打ち込み 	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらった場所へのサービス ・空いた場所やねらった場所への打ち返し ・攻撃につながる高さや位置へのつなぎ ・ネット際の防御や攻撃 ・強い振りでの高い位置からの打ち込み ・ポジションに応じたボール操作
ボールを持たないときの動き	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール方向への移動 	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の打球に備えた準備姿勢 ・開始時の定位置への戻り ・プレイ後のボールや相手への正対 	<ul style="list-style-type: none"> ・空いている場所へのカバーの動き ・フォーメーションの動き

○態度

[第1学年及び第2学年]

- ・球技に積極的に取り組むとともに、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。

[第3学年]

- ・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、自己の責任を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保することができるようにする。

○知識、思考・判断

[第1学年及び第2学年]

- ・球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

[第3学年]

- ・技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。

3 評価規準

[第1学年及び第2学年]

【内容のまとめりの評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。	球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。	球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。	球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。

【単元の評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・球技の学習に積極的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを守ろうとしている。 ・分担した役割を果たそうとしている。 ・作戦などについての話し合いに参加しようとしている。 ・仲間の学習を援助しようとしている。 ・健康・安全に留意している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール操作やボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。 ・自己やチームの課題を見付けている。 ・提供された練習方法から、自己やチームの課題に応じた練習方法を選んでいる。 ・仲間と協力する場面で分担した役割に応じた協力の仕方を見付けている。 ・学習した安全上の留意点を他の練習場面や試合場面に当てはめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット型では、空いた場所をめぐる攻防を展開するためのボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・球技の特性や成り立ちについて学習した具体例を挙げている。 ・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・球技に関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。 ・試合の行い方について学習した具体例を挙げている。

【「ネット型：ソフトテニス」学習活動に即した評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>①ソフトテニスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように積極的に取り組もうとしている。(行動観察)</p> <p>②ルールを守り、審判の判定や指示に従い、勝敗を受け入れようとしている。(行動観察)</p> <p>③自分の役割を自覚して責任を果たしたり、教え合ったり、互いに協力しながら、練習やゲームを行おうとしている。(行動観察)</p> <p>④戦術などの話し合いに積極的に参加しようとしている。(行動観察・学習カード)</p> <p>⑤仲間のプレーに対してアドバイスしようとしている。(行動観察・学習カード)</p> <p>⑥コートやラケット等の用具を安全に管理し、危険なプレイをしないなど健康・安全に留意している。(行動観察)</p>	<p>①ボールやラケットの操作、ボールを持たないときの動きなどの技術を身に付けるための運動の行い方のポイントを見付けている。(行動観察・学習カード)</p> <p>②練習やゲームを通して自分やペアの課題を見付けている。(行動観察・学習カード)</p> <p>③練習やゲームを通して自分やペアの課題を解決するための方法を選んでいる。(実技観察・学習カード)</p> <p>④自分に任された役割について、仲間と協力できる場面を見付けている。(行動観察)</p> <p>⑤学習した安全上の留意点を練習場面や試合場面に当てはめている。(行動観察)</p>	<p>①基本的なグリップでボールを打つことができる。(実技観察)</p> <p>②フェアハンドストローク、バックハンドストロークを使ってラリーを続けることができる。(実技観察)</p> <p>③サービス、ボレー、スマッシュなど、基本的な技能に必要な用具操作ができる。(実技観察)</p> <p>④次の打球への準備ができる。(実技観察)</p> <p>⑤相手側のコートに空いた場所を狙って、打つことができる。(実技観察)</p>	<p>①ソフトテニスの特性や成り立ちを言ったり、書き出したりしている。(発言・学習カード)</p> <p>②ソフトテニスの技能や技のポイントを、言ったり、書き出したりしている。(発言・学習カード)</p> <p>③ソフトテニスでは巧緻性、敏捷性、スピード、筋持久力等の体力が高められることを言ったり、書き出したりしている。(発言・学習カード)</p> <p>④試合におけるルール、審判や運営の仕方について学習したことを挙げている。(発言・学習カード)</p>

【第3学年】

【内容のまとめりごとの評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<p>球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアなプレイを大切にしようとする事、自己の責任を果たそうとする事、作戦などについての話し合いに貢献しようとする事などや、健康・安全を確保して、学習に自主的に取り組もうとしている。</p>	<p>生涯にわたって球技を豊かに実践するための自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。</p>	<p>球技の特性に応じて、ゲームを展開するための作戦に応じた技能や仲間と連携した動きを身に付けている。</p>	<p>技能の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法、試合の行い方を理解している。</p>

【単元の評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・球技の学習に自主的に取り組もうとしている。 ・フェアなプレイを大切にしようとしている。 ・自己の責任を果たそうとしている。 ・作戦などについての話し合いに貢献しようとしている。 ・互いに助け合い教え合おうとしている。 ・健康・安全を確保している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・提供された作戦や戦術から自己のチームや相手チームの特徴を踏まえた作戦や戦術を選んでいる。 ・仲間に対して、技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。 ・作戦などの話し合いの場面で、合意を形成するための適切なかわり方を見付けている。 ・健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。 ・球技を継続して楽しむための自己に適したかわり方を見付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット型では、空いた場所をめぐる攻防を展開するための役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ・球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。 ・運動観察の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。 ・試合の行い方について、学習した具体例を挙げている。

【「ネット型：ソフトテニス」学習活動に即した評価規準】

運動への 関心・意欲・態度	運動についての 思考・判断	運動の技能	運動についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ①ソフトテニスの特性に関心を持ち、楽しさや喜びを味わえるように自主的に取り組もうとしている。(行動観察) ②フェアなプレイを大切にし、ルールを守り、審判の判定や指示に従い、勝敗を受け入れようとしている。(行動観察) ③練習やゲームで、自分の役割を果たし、協力して教え合ったり、励まし合ったりしようとしている。(行動観察) ④戦術や仲間へのアドバイスを自主的に行おうとしている。(行動観察・学習カード) ⑤コートやラケット等の用具を安全に管理し、危険なプレイをしないなど、健康・安全を確保して活動している。(行動観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ①相手チーム、自分のチームの特徴を把握し、ポジションや作戦を選択している。(実技観察、学習カード) ②ペアや自分の課題をとらえ、練習の見直しやゲームを通して新たな作戦を見付けている。(実技観察・学習カード) ③作戦などの話し合いを通して、お互いにより良い方向性を見付けている。(行動観察) ④自分の力に応じた練習方法を選択している。(行動観察) ⑤自己のポジションに応じた攻守に必要な練習法や作戦を選んでいる。(実技観察・学習カード) 	<ul style="list-style-type: none"> ①ストロークでボールをコントロールした打ち方ができる。(実技観察) ②サービスブでコースをねらい、相手コートに入れることができる。(実技観察) ③ボレーやスマッシュを使った攻防ができる。(実技観察) ④ゲームで、相手に応じて、作戦を立てた攻め方や守り方ができる。(実技観察) 	<ul style="list-style-type: none"> ①ソフトテニスの技術の名称や技能の構造を言ったり、書き出したりしている。(発言・学習カード) ②ソフトテニスに関連した体力を高めることができる場面を言ったり書き出したりしている。(発言・学習カード) ③ソフトテニスの技能を高める合理的な練習法について言ったり、書き出したりしている。(発言・学習カード) ④ゲームの運営や審判の方法について、学習した具体例を挙げている。(学習カード)

4 授業展開及び指導・評価計画

ネット型：ソフトテニス [第1学年及び第2学年]

(12時間計画)

過程	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (☆)
はじめ 第1時	<p>1 オリエンテーションを行う。 ○単元の目標，ソフトテニスの特性を知る。 ○学習の進め方を知る。</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 5px;">ねらいと道すじ，めあてのもち方，授業・練習の進め方，約束事，学習カードの活用法</p> <p>○安全についての約束と用具の準備の仕方を確認する。</p> <p>2 グループ編成・役割分担を決める。 ○班長を中心に話し合う。</p> <p>3 準備運動・コーディネーショントレーニング・整理運動の方法について知る。 ○用具の名称などを覚える。 ○ハンドリング (手打ち)</p> <p>○ジャグリング 【資料1参照】 ○キャッチボール 【資料2参照】 ○ボール2個でパス 【資料4参照】</p>	<p>○提示資料や学習カードを利用し，単元の目標やねらいを理解させる。 ○学習の進め方，学習カードの記入方法活用方法について指導し，見通しを持たせる。 ○施設・用具の安全管理，用具の準備，片付けの仕方，安全な活動の仕方について理解させる。</p> <p>○はじめに班長を決めた後，1グループ6人～7人 (コート の面数に 応じて) の等質グループをつくるように指導する。 ○班長，用具係，記録係を一人一役になるよう決め，責任を持たせる。 ○準備運動，コーディネーショントレーニング，整理運動を実際に模範を見せたり，資料や掲示物を使って，その効果や方法を理解させる。 ○学習資料や仲間の助言から自己の課題を把握させる。 ○できない生徒に対しては，方法を覚えさせるのみで，授業を進めていく中でできるように意識させる。</p> <p>☆【関・意・態】① ☆【知・理】①</p>
第2時～第6時	<p style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ねらい① 基本技能を身に付ける</p> <p>4 種目への導入 ○用具の名称などを覚える。 ○グリップ 【資料5参照】 ○コーディネーショントレーニング ・ジャグリング 【資料6参照】 ・ドリブル 【資料7参照】 ・バウンドポンポン【資料8参照】 ・ボレーボレー 【資料9参照】</p> <p>5 基本技能の練習を行う。 ○構え方 【資料11参照】 ○フォアハンドストローク 【資料12参照】 ○バックハンドストローク 【資料13参照】 ○ショートラリー，ラリー 【資料14参照】 ○サービス 【資料15参照】</p>	<p>○打点と面を作ることでボールコントロールができることに気づかせる。 ○コーディネーショントレーニングを行うことで，敏捷性，巧緻性が高まり，ボール感覚を養えることを理解させる。 ○仲間と協力して，意欲的に練習やゲームに取り組みさせる。 ○模範や学習資料を活用して技能のポイントを確認させる。 ○グリップの握りや基本的なストロークを身に付けさせ，ラリーを続けることができるようにさせる。 ○施設・用具の安全管理，危険なプレイをしないで健康，安全に留意し，活動しようとする。</p>

な か	<p>6 シングルのゲームを行う。 【資料16参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1ゲーム7ポイント先取 ・コート半面を使用したゲーム ・サービスは、サービスコート内 ・サービスコート内を使用した場合は、サービスコート内に入れる。 ・サービスは2ポイント交代 <p>○サービスコート内でのシングルスゲーム ○コート半分でのシングルスゲーム</p>	<p>○学習カードや学習資料を使い、ゲームの進め方や審判の方法を理解させる。 ○グループ内で対戦相手や審判を決め、協力して取り組ませる。 ○ルールを守り、協力してゲームに取り組ませる。</p> <p>☆【関・意・態】 ③⑤ ☆【思・判】 ①② ☆【技】 ①② ☆【知・理】 ②③</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>ねらい② 新しい技能を身に付け、簡易ゲームを楽しむ</p> </div>	
第7時～第9時	<p>7 ボレー、スマッシュの練習を行う ○ボレー 【資料16参照】 ○スマッシュ 【資料17参照】</p> <p>8 トリプルのゲームを行う。 【資料18参照】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに、3人チームをつくる ・レシーブ側(R)は1本ずつローテーションする ・サービス側(S)は3人に対しそれぞれサービスを入れたらローテーションをする ・1周(9ポイント)したら1ゲーム終了 ・3ゲーム先取で戦う ・陣型は基本、前1人後ろ2人とするが、段階に応じ、陣形を変えもよい ・審判は、セルフジャッジで行う。 	<p>○ボレー、スマッシュなどの基本的技能を身に付けさせる。 ○軸足からのプレイを意識させることで、ボールコントロールが向上することに気づかせる。 ○仲間と協力して、意欲的に練習や技能に取り組もうとする。 ○ネット近くに高く上がったボールをスマッシュする場合は、頭上でボールを打てるよう助言する。 ○トリプルのゲームの進め方や審判の方法について説明し、ゲーム進行がスムーズにできるように指導する。 ○ゲームの反省を生かし、コンビネーションの向上につながる作戦を考えさせる。 ○練習やゲームを通して、自分や3人チームの課題を明らかにし、その課題解決の仕方を選べるようにさせる。 ○安全に留意して行わせる。</p> <p>☆【関・意・態】 ②④ ☆【思・判】 ③⑤ ☆【技】 ③④ ☆【知・理】 ④</p>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> <p>ねらい③ 身に付けた技能を生かしてゲームを楽しむ</p> </div>	
まとめ	<p>9 ダブルスのゲームを行う。 ○正式なルールで、まとめのゲームを行う。 ○グループで試合方法と審判の仕方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正式なルール ・3ゲーム先取 ・リーグ戦 <p>10 身に付けた技能の確認を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファアハンドストローク ・バックハンドストローク ・サービス ・ボレー ・スマッシュ <p>11 単元全体を振り返り、まとめと学習の反省を行う。 ○学習ノートを整理し、学習の反省をする。</p>	<p>○リーダーを中心に、試合方法と審判の確認をさせる。 ○次の打球への準備やあいたコースを狙って打つなど、ボールを持っていないときの動きを含めたゲームのポイントを身に付けさせる。 ○ゲームのない生徒は、アドバイスをしたり、励ましたりさせる。 ○どこに打ったら点を得られるか、なぜ、決められないのかを考えさせ、次回の課題とさせる。 ○グループカードと学習カードを整理させ、学習のまとめをさせる。 ○リーダーを中心に積極的に話し合いに参加させる。</p> <p>☆【関・意・態】 ⑥ ☆【思・判】 ④ ☆【技】 ⑤</p>

ネット型：ソフトテニス [第3学年]

(20時間計画)

過程	学習内容と活動	指導・支援 (○) と評価 (☆)
はじめ	<p>1 オリエンテーションを行う。 ・単元の目標やねらいを知る。 ○学習の見通しをもつ。 ソフトテニスの特性を再確認し、ラケット操作に慣れ、ボール感覚を高める。</p> <p>2 グループ編成，役割分担を決める。 ○班長を中心に話し合う。</p> <p>3 準備運動，コーディネーショントレーニングを知る。 ○グリップの確認 【資料5参照】 ○コーディネーショントレーニング ジャグリング 【資料6参照】 ドリブル 【資料7参照】 バウンドポンポン 【資料8参照】 ボレーボレー 【資料9参照】 ○ショートラリー，ラリー 【資料10参照】</p>	<p>○単元の目標やねらい，学習の進め方，学習資料の活用方法，用具の取り扱いについて理解させる。 ○仲間と協力して，意欲的に練習やゲームに取り組みさせる。 ○ソフトテニスの授業におけるルールを再確認し，常に安全への配慮を意識させる。 ○グループ編成は，等質の編成になるよう配慮する。 ○学習資料や仲間の助言から自己の課題を把握させる。 ○ソフトテニスの特性を再確認し，ラケット操作に慣れる。</p> <p>☆【関・意・態】① ☆【知・理】①</p>
なか	<p style="text-align: center;">ねらい① 既習の基本技能を高めながら，ゲームを楽しむ</p> <p>4 基本技能を高める。 ○基本技能習得練習1 グラウンドストローク練習 サービス練習</p> <p>5 シングルスゲームを行う。 【資料11参照】 1ゲーム7ポイント先取 コート半面を使用したゲーム サービスは2ポイント交代</p> <p>○進行表で対戦相手，審判，コートを確認し，ゲームを開始する。</p>	<p>○学習資料で，既習した内容のポイントを確認しながら，より正確に安定した打ち方ができるようにさせる。 ○必要に応じて，各自の課題を指摘させ，自分にとって必要な課題が選べるようにさせる。 ○ゲームの進め方や審判の方法について確認し，ゲーム進行がスムーズにできるように指導する。 ○練習やゲームを通して，自分の課題をとらえさせ，練習の見直しをさせる。 ○練習やゲームを通して，自分の課題を明らかにし，その課題解決の仕方を選べるようにさせる。</p> <p>☆【関・意・態】② ☆【思・判】② ☆【技】①</p>
か	<p style="text-align: center;">ねらい② 更に高まった力で仲間と協力して，ゲームを楽しむ</p> <p>6 基本技能を更に高める。 ○基本技能習得練習2 ボレー練習 スマッシュ練習 サービスレシーブの練習 【資料12】</p>	<p>○学習資料で既習した内容のポイントを確認しながら，より正確に安定した打ち方ができるようにさせる。 ○必要に応じて，各自の課題を指摘し，自分にとって必要な課題が選べるようにさせる。</p>

第6時～第12時	<p>7 ダブルスゲームを行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・正式なルール ・3ゲーム先取 ・リーグ戦 </div> <p>○進行表で対戦相手，審判，コートを確認し，ゲームを開始する。 ○ゲームの合間で，ゲームの反省，分析をする。</p>	<p>○ポジションの役割について説明し，個人やペアの技能を考慮したポジションや役割を決めさせる。 ○学習資料を使って，基本となる攻守を説明し，作戦や課題を立てやすくする。 ○必要に応じて，自分やペアの課題を指摘し，練習の見直しやゲームで新たな作戦を見付けることができるようにさせる。 ○ボレーやスマッシュを使った攻防ができる。</p> <p>☆【関・意・態】③ ☆【思・判】①③ ☆【技】②③ ☆【知・理】②</p>
まとめ	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p>ねらい③ 自チームの特徴や相手チームの特徴に応じた作戦を立ててゲームを行う</p> </div> <p>8 ペア練習を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・サーブレシーブ ・グランドストローク ・ボレー ・スマッシュ ・ラリー </div> <p>○各ペアごと，課題を確認し，練習コートに移動し，ペア練習を開始する。</p> <p>9 ゲームを行う。 ○大会形式1（個人戦）リーグ戦 ○進行表で対戦相手，審判，コートを確認し，ゲームを開始する。 ○ゲームの合間で，ゲームの反省や分析をする。 ○大会形式2（団体戦）リーグ戦 ○各グループをそれぞれチームとする。 ○チームのリーダーを決め，リーダーを中心に進行表を確認し，ゲームを開始する。</p>	<p>○自分のペアや技能，作戦の課題を考えさせ，効果的な練習の仕方や作戦の立て方について支援・指導する。 ○各ペアの課題練習ができているか確認し，必要に応じて助言する。 ○ペア練習を通して，自分やペアの課題を指摘し，練習の見直しやゲームに向けての課題がえらべるように支援する。 ○相手の動きへの予測や判断を意識した動きができるようにさせる。</p> <p>○ゲームの合間に，ゲームの動きや技能の高めるポイントについて確認をさせる。 ○他の試合を観察することで，自分たちの課題や作戦を見付けるよう指示する。 ○各ペア，各チーム交代で審判をし，運営に係わらせ協力して試合を円滑に進められるように支援，指導する。 ○フェアプレーを意識させ，審判の判定や勝敗を真摯に受け止めさせる。</p> <p>☆【関・意・態】④⑤ ☆【思・判】④ ☆【技】④ ☆【知・理】③</p>
	<p>第19時～第20時</p> <p>10 身に付けた技能の確認を行う。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・ファアハンドストローク ・バックハンドストローク ・サービス </div> <p>11 単元のまとめと学習の反省をする。 ○学習ノートを整理し，学習の反省をする。 ○アンケートと感想を記入する。</p>	<p>○教師がグループを順に回り，練習や試合で身に付けた技能の確認を行わせる。 ○グループ（チーム）カードと学習カードを整理させ，学習のまとめをさせる。 ○リーダーを中心に積極的に話し合いに参加させる。 ○事後アンケートを取り，今後の指導に役立たせる。</p> <p>☆【思・判】⑤ ☆【知・理】④</p>